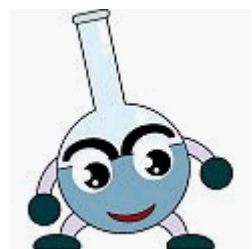


# (理 科)

## 1 まとめをする

その日に学習したことがらを自主学習ノートにまとめます。教科書や理科ノート、自分で買った参考書・問題集で、解説などを見ながら要点を書き出すというやりかたでかまいません。丸写しにならないように注意し、一つ一つ理由や規則性を考えながらまとめます。



また、実験の注意点や実験結果も大切ですから、実験や観察を思い出しながらノートに書き出します。図や表も必要に応じてじょうずに活用しましょう。

## 2 問題を解く

単元の終わりには探究の理科を解いておきましょう。探究の理科は定期テストの後にも提出しますが、提出までの間に自主学習ノートに書くという使い方できます。問題集を自主学習ノートに解いてもかまいませんが、色々なものに手をつけると、どれも中途半端になってしまいます。簡単な問題集でよいので一冊をきちんと仕上げるようにしましょう。

## 3 重要語句をおぼえる

今の学校の勉強は知識の詰め込みにならないように工夫されていますが、だからといって知識が不要なわけではありません。考えを組み立てるのに必要な部品となる知識は必要です。最低限、教科書に太字で書かれた重要語句については、その意味まできちんと覚えます。楽をして覚える方法はないので、ひたすら書いて覚えましょう。一回目は語句とその意味、二回目以降は語句だけでもかまいません、漢字の間違いにも注意して繰り返し書きましょう。



## 4 その他

東日本で起きた地震やその後の津波で多くの方がなくなりました。鳴門地域でもこのような災害が起きる可能性があります。このような自然災害を知り、自分の命や家族を守るのも理科の勉強です。理科は学校の授業を通じて頭の中にその自然のイメージを築き上げていきますが、中学校で扱われる内容のほとんどは身の回りのものです。普段の生活の中で事物をしっかり見ていることが、自然というものを正しくとらえることにつながっていきます。



自分が生きているのも、雨が降るのもボールが転がるのも、すべて理科の内容です。家庭生活においても部活動においても、「これは何だろう。」「なぜかな。」「どうしたらいいかな。」という気持ちで、身の回りの事物や現象をしっかり見極める態度が、理科の力を大きく伸ばすことにつながります。